

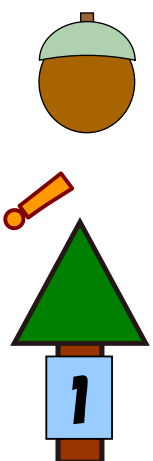
マツボックリとドングリの木を探そう

「番号がある青いプレート」がついた木を園内で探してください。木の側にある解説版を見て、**解答欄の樹木No.と木の名前を線で結んでください。**

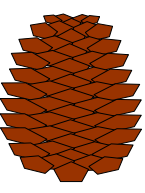
さあ、問題マップをたよりに探険へ出かけよう!!

しょうじかん
所要時間
60分

モミ

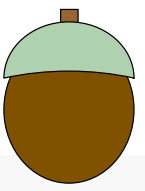


マツボックリってなあに？



「マツボックリ」はマツにできる実(球果)です。最初、球果は固く閉じていますが、熟して乾燥すると全体が開き、タネが出てきます。葉が針のような形をした針葉樹の多くは球果をつけます。

ドングリってなあに？



「ドングリ」はコナラやクヌギなどブナ科の植物にできる実(堅果)です。堅果はとても堅い皮でおおわれ、殻斗という帽子をかぶっています。縄文時代は大切な食料として利用されました。

樹木No. 1



【シラカシ】関東に多く見られるカシ。つくばでもよく見られる。



【ラクウショウ】沼地や湿地にはえ、空気を吸う根(呼吸根)を出す。



【ツバネガシ】枝の先に葉が4枚出て、羽子板のつく羽根に似ている



【エゾマツ】北海道を代表する針葉樹。球果は下向き。



【アカマツ】樹皮は赤く、葉はやわらかい。やさしいかんじから、メマツ(雌松)ともいう。



【トマツ】北海道を代表する針葉樹。球果は上向き。



【アラカシ】葉の上半分に大きい鋸葉があり、裏は白っぽい。



【ドイツウヒ】クリスマスツリーの木に使われる。



【ク】堅いイガの中に実が3個入っている。



【ウバメガシ】良い木炭がつくられる。



【ウラジロモミ】モミは若枝に毛があるが、これにはない。



【イチイガシ】葉の裏に黄褐色の毛が密生し黄色くみえる。



【マテバシイ】実は渋くなくて食べられる。



【ヒメコマツ】葉は5枚で、別名ゴヨウマツ。



【スダジイ】モコモコとした円い大きな樹冠をつくる。



【クロマツ】海岸の砂浜や岩の上に見える。強い感じから別名オマツ(雄松)。



【カラマツ】日本では数少ない落葉性の針葉樹、別名を落葉松。

けんきゅうがんにりくいき 研究管理区域

けんきゅうがんにりくいき 研究管理区域

みつけにくいけど、がんばって!!

ねっぺいりょうりんおんしつ 熱帯雨林温室

ねっぺいしけん 熱帯資源

しよくつおんしつ 植物温室

おんしつ サバンナ温室

いけ池

ちゅうしゃじょう 駐車場

いりぐち 入り口

いづくできるかな??